

「公共工事に係る不正行為の再発防止対策報告書」に対する

有識者からの意見・評価

弁護士

職員の意識，事業者との関わり方，情報提供，組織的対応，入札・契約制度など多角的な観点から検討がなされ，再発防止に必要な対策が盛り込まれていると考えます。対策の一つとして作成された「公共工事に関わる職員の官製談合防止指針」は，事業者への対応方法や職場環境づくりについて具体的かつ丁寧に説明されており，公共工事に関わる職員以外の職員にとっても参考となる内容になっていると思われました。報告書にも記載されていますが，一連の取り組みが有機的・継続的に実施され，定期的な検証と検証結果の公表が行われることを期待します。

公認会計士

地方自治法の改正により、内部統制の整備充実が地方自治体に求められています。今回の西宮市の不祥事も内部統制が十分に機能しておれば、防止できた事案であると思われれます。内部統制には、6つの基本的要素（①統制環境、②リスクの評価と対応、③統制活動、④情報と伝達、⑤モニタリング（監視活動）、⑥ICT（情報通信技術）への対応）がありますが、①統制環境と③統制活動が十分機能しなかったケースであると考えます。

今回の再発防止策は、(1) 情報管理の徹底、(2) 研修等の実施、(3) 入札・契約制度や業務の実施体制の見直しの3つからなっていますが、(1) 情報管理の徹底と (3) 入札・契約制度や業務の実施体制の見直しは、制度または仕組み面から再発防止をはかるものであり、内部統制の③統制活動

の強化です。(2) 研修等の実施は、関係職員に対する意識改革で、入札等の情報を漏らしてはいけないという基本が職場全体に浸透していなかったことに対する是正で、内部統制の①統制環境（組織風土）の改善にあたります。

今回の不祥事についていえば、(1) 情報管理の徹底と (3) 入札・契約制度や業務の実施体制の見直しは、あくまで、対症療法であり、根本的な解決にはなりません。

最も重要なのは地方公務員としての立場の自覚です。地方公務員である職員には、民間の会社の従業員と異なり、公平性と透明性が求められる。公平性とは接する市民及び業者を公平に取り扱うことであり、透明性とは役所の事務執行には説明責任が伴い、職員が行う事務執行はガラス張りでなければならないということです。特に税金で大きな工事案件を取り扱う職員の方々には、強く求められることであり、場合によっては今回のような刑事罰の対象にもなります。このことを契約関連職員のみならず、全職員に浸透させることが重要です。

今後行われる「再発防止策の着実な実行と効果の検証」という地道な努力の継続を西宮市に期待します。

大学教授

今回のような事件が起きると、他自治体においてはランダム係数を導入する傾向があると言えますが、ダンピング受注の防止等を考慮した変動型最低制限価格を採用する決断は尊重します。この方法により入札情報の漏えいリスクは低減できますが、漏えいの可能性がなくなるわけではないことに十分留意してください。仮に再発した場合、制度設計に問題がなかつ

たかが問われることになります。原則として予定価格5千万円以上の案件を対象として試行実施することとしていますが、今回の事件の対象案件の中に5千万未満の案件があることを考慮し、試行実施で問題が生じなければ、価格帯を限定せず、全案件を網羅できるよう取り組んでください。

総合評価落札方式の活用について、逮捕された職員に「技術力の高い業者に引き受けてほしかった」との動機があったことから、過去の施工成績を評価した上で落札者を決定する当該方式の活用を対策の一つとして掲げていますが、国がどのような意図・目的でこの制度を導入したのかを理解するとともに、職員や入札に参加する事業者に過度の負担がかからないよう留意してください。

入札制度における改善は、入札情報の漏えい防止のみできれば良いというものではありません。西宮市では、入札不調の問題や更なる競争性の確保に取り組む必要がありますので、それらも考慮し、制度全体の改善を図ってください。

研修の充実、情報管理の徹底、業務の実施体制の見直しなど、様々な対策を講じることとされていますが、何より効果的に継続することが重要です。各職場で再発防止に取組み、市民の信頼回復に努めてください。